

## NEWS RELEASE

2025年7月23日

### 高槻物流センター オンサイト PPA モデルを活用した再生可能エネルギー電気の利用開始 -温室効果ガス排出量を年間約 1,101t 削減-

東洋メビウス株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：篠山健司）は、テス・エンジニアリング株式会社（本社：大阪市淀川区、代表取締役社長：高崎敏宏、以下「テス・エンジニアリング」）との共同の取り組みとして、大阪府高槻市「高槻物流センター」において、オンサイト PPA モデル<sup>※1</sup>を活用した自家消費型太陽光発電システムを導入し、2026年2月より、再生可能エネルギー電気の利用を開始予定です。



#### ■ 本取り組みの目的

当社は東洋製罐グループの一員として、脱炭素社会の実現に向け、中長期環境目標「Eco Action Plan 2030」のもと、温室効果ガス（以下「GHG」）排出量を 2030 年度に 50%削減（2019 年度比）、2050 年にカーボンニュートラルの実現をめざすこととしており、再生可能エネルギー由来の電力の導入は、その目標達成に向けた主な取り組みの一つです。

東洋製罐グループ 脱炭素社会へ向けて：

<https://www.tskg-hd.com/sustainability/environment/decarbonization/>

#### ■ 本取り組みの詳細

本取り組みは、テス・エンジニアリングが、当社高槻物流センターの屋根上に自家消費型太陽光発電システムを設置し、オンサイト PPA モデルとして所有・維持管理を行い、再生可能エネルギー電気の供給を行います。発電容量は約 2.3MW、年間想定発電量は約 261 万 kWh となり、GHG 排出削減量は年間約 1,101t-CO<sub>2</sub><sup>※2</sup>となる見込みです。また、発電分は高槻物流センターの倉庫・事務所等での消費電力として使用する予定です。

設置場所	東洋メビウス株式会社 高槻物流センター
所在地	高槻市南庄所町
PPA 事業者	テス・エンジニアリング株式会社
システム内容	オンサイト PPA モデルを活用した自家消費型太陽光発電システム 発電容量：2,290.75 kW（Jinko Solar 製 595W×3,850 枚） モジュール種別：単結晶
供給開始予定年月	2026 年 2 月

※ 1 オンサイト PPA モデル：

PPA 事業者が発電事業者として、自家消費型太陽光発電所等の所有・維持管理等を行い、当該発電所等から発電された電力を需要家に供給する契約方式です

※ 2 電気事業者別排出係数代替値 0.000422t-CO<sub>2</sub>/kWh で算出

参考：環境省ホームページ「電気事業者別排出係数一覧（令和 7 年提出用）」

[https://policies.env.go.jp/earth/ghg-santeikohyo/files/calc/r07\\_denki\\_coefficient\\_rev.pdf](https://policies.env.go.jp/earth/ghg-santeikohyo/files/calc/r07_denki_coefficient_rev.pdf)

【本件に関するお問い合わせ】

東洋メビウス株式会社 総務部 Tel.03-5436-0251

（お問合せフォーム）<https://www.toyo-mebius.com/contact/>

当社の物流サービスについてはこちら

<https://www.toyo-mebius.com/service/>